

## タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成28年5月21日（土）午前10時30分～正午  
場 所 ソラガーデン自治会集会所（ソラガーデン自治会）  
参加者 24人



### 主な意見等

参加者 自治会集会所の裏や近所の公園などで子どもが遊んでいることも多いのですが、芝生が荒れているのをどうかしてほしいという声を住民の方からいただくことがあります。ただソラガーデンは市の管理だと伺っているので、こういったことに自治会としてはどう対応したら良いのでしょうか。

市 長 ソラガーデンに関しては市の施設をお貸ししていて、光熱費等は補助金を出しています。住宅開発に関連した小さな公園等を高い頻度で管理するのはなかなか難しいのが現状です。

私は道路・公園などすべての公共施設は市ではなく市民の財産であると考えています。市がやっている中でも有志で市民の方からお力を借りられればと思っています。特にソラガーデンは現役世代の方が多いため、お仕事などもあり、そうしたお願いをするのは難しい部分もあるかと思いますが、まち全体としてそうした動きが起こってくると非常にうれしく思います。

合併以来、旧大井地域は公民館の分館というかたちで全額市が費用を出して管理しています。対して旧上福岡地域は県と市の補助金を使いながらも自分たちのお金で建て、管理しています。昨今、自治組織の加入率が下がる中、旧上福岡地域のような運営体制で将来もやっていけるのかという課題もありますし、そのあたりを市民の

声を聞きながら検討していきたいと思っています。いずれにしても市で管理と言っても皆さんの税金によるものですので、限られた財源の中で適切な配分を考えながら、皆さんのお力もお借りしてやっていきたいと考えています。

参加者 現在、芝生が荒れるのでこの自治会の裏にある公園を立ち入り禁止にするという意見が出たりしています。こうした問題に対して市長の意見を聞かせていただければと思います。

市長 立ち入り禁止とまでは言わないまでも、遊び方のローカルルールなどが作ればいいのではないかと思います。

参加者 この地域は大型車が結構通るので、交通規制ができればと思うのですが。

市長 三芳のスマートインターチェンジもフルインター化を予定しており、便利になる一方で車両が多くなり通学路等の危険は増えてしまいます。車の誘導や通学の時間帯で規制するなどさまざまな交通政策をとっていかなくてはならないと考えています。

参加者 空き家について、遠方に所有者の親族はいるようですが管理しに来ないので放りっぱなしになっているところがあります。市で何か対策がありますか。

市長 これまでは罰則がありませんでしたが、特別措置法の施行で近隣への影響が大きい場合には固定資産税の軽減措置をなくすことができるようになるため、抑止力が期待できます。空き家の放置は治安の面でも良くないので、近隣でそういった場所がありましたら市役所にぜひご一報いただければと思います。

参加者 交通の話に関連してですが、自治会集会所裏の横断歩道に歩行者用の信号がほしいと考えています。

市長 市内で信号をとという意見は多くあり、警察に要望しておりますが、なかなか難しいのが現状のようです。予算の面もそうですが、立地条件や信号の間隔、信号機同士の連動などの問題があり、1つ増やすのも難しいそうです。要望としては今後もあげていきたいと思っています。

参加者 学校に関連することで、今年2年生になった子どもがいるのですが、ここ数年で三角小の生徒数が急増したこともあり、今年は2年生が3クラスになりました。

ただ、3年生になったときには3クラス化するための必要生徒数が増えるそうで、ぎゅうぎゅうの2クラスになってしまう見通しです。1クラスあたりの人数が増えると先生としてもひとりひとりへ目を配るのが難しくなるそうですし、教室等、受け入れ態勢があるのであれば3クラスにしてほしいと思います。これは国の問題だとも思いますが、なんとかならないかなという思いもあります。

市長 おっしゃる通り国や県の定めによるもので、定員を考慮せずクラス数を増やす場合には市費で対応するというのが決まりになっています。少人数の方がきめ細かな対応ができるというのは私も感じるころではありますが、40人くらいの規模も決して悪くはないと思います。市独自でクラスの制度を変更するのは難しいですが、できるだけ子どもの環境を良くしたいという思いから、ふじみ野市では習熟度別の教育などクラスの枠組みにとらわれない教育も行っています。

また、補助教員の配置は近隣他市に比べて手厚くしており、発達障がいの子どもへの対応などにも効果を発揮しています。ただ、子どもたちにとって集団生活を学ぶという意味ではそれなりの数の方がいいのではという考えもありますし、少人数クラスでは運動会や音楽会などの行事がさみしくなってしまう。このようにクラス数についてもメリットとデメリットがありますが、何とか補助教員で対応しているのが現状です。

参加者 多目的グラウンドについてですが、サッカーで子どもが使っているのですが、ナイター設備がないので冬は使えません。せっかく良

いグラウンドなのにもったいないと思います。

予算のこともあるのですが、ナイター設備で利用者も増えるだろうと思います。

市長 住宅地や畑など立地的な問題は大丈夫ですが、どうしてもコストがかかってしまいます。イニシャルコストもそうですが、ランニングコストが大きいのではないかと思います。利用者に対して負担をさせていただかなくてはならないですし、維持管理にも費用がかかります。立地的には可能ですので、ナイター設置による利用者数の伸びなどを試算してなるべく少ない負担で実現できるように今後、検討していきたいと考えています。

参加者 前住んでいた板橋区では民間で体育館などを使って、放課後そのままそこで遊ばせたりする民間サービスがありました。ちょっと夕方まで遊ぶくらいでは費用がかからなかったと思いますし、希望者は有料で夕飯食べさせたりできるのでいい制度だなと思いました。

市長 ふじみ野市でも放課後児童クラブの定員増を図っていて、夏休みのみの利用もできるようになっています。最近は今お話があったように民間に任せるなど独自の制度を取る自治体が増えています。

ふじみ野市も指定管理者というかたちで放課後児童クラブを運営しています。働くお母さんも多いですから、そうしたニーズに少しでも答えられるように、さきほどの板橋区の事例など良いものを参考にしていきたいと思います。